



弘前アップル RC 週報

会長：荒田 俊治 幹事：坂本 大輔

2013/02/10

第 73 回例会

弘前アップル RC 事務所

〒036-8086 青森県弘前市田園 1-21-1 アイエーネットワーク内

外部卓話 高岡ゆかり 様



みなさま、こんばんは。
私は高岡ゆかりと申します。姉の山田
順子（当クラブ会員）がいつもお世話
になっております。
姐は外出続きなので、猫の世話という
ことで参りました（笑）

私はただの主婦なのでお話しできる
かどうかわかりませんが、どうぞよろ
しくお願い致します。
住んでいるところは埼玉県さいたま市、
旧浦和市というところです。
家族構成は、主人は一歳上のサラリー
マンでマツダの営業をしております、



姉もマツダに乗っておりますが、もし何かの際には運んでまいりますので、よろしければお声をおかけください。小学校5年生の女の子、小学校1年生の男の子、犬2匹と生活しております。8年前、父が亡くなって母一人になったので、私たちが住んでいる隣に、主人の父と母と兄が住んでいるのですが、アパート形式で建っているものですから、主人の母が亡くなったっていうのもあって、一軒空いた形になったので私の母を呼んでいいよということで、私の母が隣に住んでいる形です。だから今回も私が出てくる日に1年生の男がウイルス性胃腸炎で倒れ、その世話を母がし、今日も5年生の娘もウイルス性胃腸炎倒れたそうなんです、その世話も主人と母でやってくれています。ということで、母がいないとうちが成り立たないような感じでやっております。

私は仕事をやっておりまして、午前中はさいたま市の保育園の保育士として、朝7時から11時まで仕事をしています。午後は、3時半くらいからなんですけれども、さいたま市のファミリーサポートセンターというものに登録しており、お母様が仕事をしにいらっしやったりとか夜遅くまでの仕事の方々のお子様をうちに連れてきてお預かりするだとか、学童保育から家に送るといった仕事は来ます。それは有償のボランティアという形で、1時間700円をいただけます。今は6年生になった男の子なんですけれども、自閉症の子なんです。特殊学級に3時半くらいにお迎えに行くと、引き取っ

て2時間うちで遊んで、お家まで送るといったファミリーサポートをやっております。

昼間11時から15時までが私の休憩時間であり、昼寝の時間だったんですが、2年前に上の子の学校のPTAの選挙管理委員から来年会長がいないという電話がありまして、私は朝も夜も仕事だし、会長をする器でもないし、時間もないのでという話をしたのですが、どうしてもということで、なんとこの2年間はPTAの会長も務めて毎日バタバタとしております。

なので、「普通の主婦」なんです(笑)

最初に保育園のお話からさせて頂こうと思うのですが、生まれて1歳になるかならないかの頃、団地の中にある保育園に私は預けられることになって、毎日楽しい日々だったのか、最初泣いていた記憶もある感じなのですが、保育園に通っておりました。保育園に通っている時は、女の子がすごく強いクラスだったので、噛み付き、椅子を振り上げ、先生のボタンをとる、未だに記憶がちょっとあります。すごい荒い女の子がたくさんいるクラスだったのですが、なんとその事情は、丙午（ひのえうま）なんです(笑)

ここで打ち明けますが、丙午生まれなので、まあ女の子が強かったです。なんで強かったのが未だに記憶があるのかというと、いまだに同窓会があるんです。47年経った今でも。もちろん先生も交え、この間は年末の12月28日に今でも連絡が取れるメンバー8人くらいと、姉も今回は参加したのですが、他にもお母さんたちも何人か参



加して同窓会をしてきました。やっぱりその保育園の話題になると椅子を振り上げていたのがまーちゃん、嘸み付きがすごかったのがマキでとか(笑)、未だにその話題で盛り上がって来ましたけれども、中にはやたら木登りが得意な男の子がいたんですね。今でもその保育園があるのですが、未だにそれを成し遂げたのが彼だけらしいんです。その彼が今、何をやっているかという、体操の内村選手を育てた、今オリンピック協会でお仕事をしているKさんという方なので、是非調べてみてください。今度彼は体操の日本代表の女子の監督になるということで、すごく立派な方です。オリンピック協会に見学のツアーがあるんですが、ちょっと私に声かけて頂ければ(笑)私も今回PTAの会長の都合で育成会というのがあるのですが、その日帰り旅行で行ってきたのですが、体操のマットは日本のマットが一番いいそうです。そこででんぐり返ししてきたりしました。そんな形で、楽しい同窓会をしてきました。

保育園の時にいろんな友達と生活することの楽しさを知りました。とにかくそのくらい小さい子が好きだったので、しょっちゅう小さい子の部屋に行って遊んで迷惑がられていたらしいんですが。あなたはどんな子でも小さい子が好きだったわねと、同窓会でも先生にされました。

ということで、私の基盤ができたのは保育園の頃だったかなと思います。横浜にあった保育園にいたのですが、船橋の小学校に4年生くらいの時に引

っ越しをして、そこからは平凡な日々を送っておりました。

4年生で泳げなかったのが、スイミングに通って、そこで4泳法覚えて、高校時代にダイエットと思って泳ぎにいったんですね。しばらくすると、「ねえねえアルバイトやらない？」とプールのコーチに誘われて、高校生は本当はアルバイトダメなんだけど、内緒でさせてあげるよと言われて、アルバイトを始めました。高校はもちろんアルバイト禁止、ところが、私は色々な先生と仲良くなるのが得意だったので、一番恐ろしいとされる体育科の教官とすごく仲が良く、「先生、プールでバイトしていい？」と言ったら、体育科の先生たちがバツと振り向いて、「ボランティアだよな？」って言ってくださって、先生方はすんなり認めてくださったんですよ。

スイミングの教え方や子供との接し方をスイミングの先生方がすごく真剣に教えてくださったし、すごく勉強になった何年間で、アルバイトを認めてくださったことがすごく大きな人生のプラスになりました。高校には厳しい先生もいて、書道の先生はアルバイトを見つけると端からやめさせていく先生だったのですが、なんとその先生のお子さんを教えていたんです(笑)その先生にも認めて頂いて、すごく幸せな高校生活でした。

その縁もあって体育大にどうしても入りたくて、体育大の保育科を選んで保育士になる道を進みました。バイト優先の学生生活を送り、毎日バイトに行き子どもたちを教え、子どもたちを教えるとどんどんうまくなってくれるの



で、すごく嬉しいし楽しいし、保育園実習や幼稚園実習に行くと、「あなたは教えるのに慣れてるわね」と褒めてもらって、人生のプラスになったアルバイト生活です。そのプールにはボランティアで目の見えない方に水泳を教える方たちがいらして、そういう形での社会貢献もあるんだなというのを知って驚いたのを覚えています。

そのあと、幼稚園に7年勤め、いろいろな子ども達がいたのですが、結構親がみているので愛情たっぷり、今自分の勤めている保育園の子どもたちと比べると、比較的やりやすかったと感じます。

そのあと主人と出会う前に、またどうしてもプールで教えるのをやりたくて、元のプールのところでアルバイトをさせてもらってました。その時にいたのが、ハイケ・フリードリッヒというドイツの水泳選手だった方で、ソウル五輪の金メダリストがドイツから日本に移られていらして、一緒に水泳を教えていました。

また、その時に流行っていたのが、水中エアロピクスで、一緒にハイケと教えるカリキュラムを立てたり、小さいお子さんが泳ぐときに、親が隣で泳いだらどうですかというコースを作って、親は親で習って、子どもは子どもで習うというプログラムを作って活性化させたりしてました。

主人と出会ったのは友達の結婚式でした。よくあるようであまりないらしいのですが(笑)主人と結婚しまして、埼玉に移りました。最初のうちはプールに通っていたり、

元の幼稚園の関係でお手伝いに行ったりしていたのですが、家の近くで仕事を探そうと思った矢先にファミリーサポートセンターというのを見つけて、大好きな子どもを預かってお金をいただけるのであればということで、ボランティアですが、そちらに登録をしてやっていました。もう一つ病児保育を作る会というのがやっている緊急サポートというのにも登録していました。一回うちに来ると子どもたちが楽しいと言い始め、あのうちに行きたいという子どもが結構いっぱいになってきたので、一時は3箇所の子どもたちを迎えに行って、うちで夕飯を食べさせて、お母さんがお迎えに車で過ごすっていうのが、すごい時で6~7人うちにいたこともありました(笑)

また、結婚してまもなく、社会福祉協議会の広報誌が入ってまして、

「ふれあい里親募集」と書いてあったんです。なんだろうと思って読んでいくと、養護施設で育ったお子さんっていうのは、家庭を知らずに育ってしまうので、お正月などの行事を一緒に過ごさせてもらえる家庭を募集しています、という無償のボランティアでした。私は子どもがすぐにはできなかったの、子どもがいる生活ってどんなかなと思って、主人に聞いたら、主人は当時、週に一度休みがあるかないかの生活だったので、「僕がなにか手伝うものとかでなければいいよ。」ということで、さっそく電話して、話を聞きに行きました。

そこで色々な話を伺って、お子さんを引き取って育てるのはまだ難しいけど、



夏休み一週間、冬休み一週間だったらどうですかということだったので、それなら大丈夫ということでお受けしました。

最初に来たのは3年生の女の子と4年生の男の子のご兄妹で、施設の方にお話を聞きに行ったら、「全く身寄りがありません。下の子が乳児院、上の子が今の施設のころから始まって、ずっと今まで来ていたんだけど、何軒か里親みたいなのところにも行ったことがあって、素直ないい子たちなのでお願いします。」ということで、夏休み一週間来たんです。そしたら、お父さん、お母さんって呼ぶんです。すごくかわいく、でも途中兄妹で喧嘩をしたんです。「喧嘩をしたら帰ってこいと施設の先生に言われてたから、俺は帰る」と言ってキレたんですね。喧嘩をしたら帰るっていうのはわかるけど、でもなんで喧嘩になったのかとか、二人で話し合うことはできないのかと言って、お互いに色々な話をさせて、そこは落ち着いたので、一週間いることになりました。その当時うちにも家計の余裕があったので、ディズニーランドに連れて行ったりしたのですが、施設に送る時、彼らに「この一週間うちにきて良かった？」と聞いたら、「すごく楽しかった！また来たい！！」と、「何が良かった？」ってきいたんですね。「ディズニーランド」って答えたら失敗だと思ったんですが、「本気で怒ってくれたこと」って言ってくれたんです。本気で話をしてくれたのが良かったってお兄ちゃんが言ってくれたので、これだったらまた冬に引き受けようかなと思って送っていきまし

た。冬にもまた来たいということで、またうちに一週間呼んで一緒に過ごして、また楽しかったって言って帰っていったんですが、その次の夏の前に施設から電話があって、彼らが今まで行った里親の中ですごくうちを気に入っているの、是非そのまま里子として迎え入れてくれないかという風に言われました。その時はまだ33歳だったし、本当に申し訳ないのですが、彼らが嫌とかではなくて、私たちは自分たちの子どもも産みたいし、将来的には何かそういった形のご協力はできるかもしれないけど、今の時点では里子として迎え入れるのは無理な状況ですとお話しました。施設としてはなんとか養子縁組をしたいので、高岡さんのうちに行ってしまうと、彼らもそこばかりになってしまうので、ここで彼らはもううちには来ないようにしてもらいました。でも、一回だけどうしても泊まりたいというので、2泊行かせていいですかということだったので、それはいいですよということで受け入れました。彼らもその話を聞いてきているので、施設に帰る時は3人で号泣でした。「僕たちもう来れないよね？」と言ったのですが、私は二人のことは気にしてるから、いい人がいて里親さんになってもらえるんだったらそこで幸せになってくれたらそれが私も幸せだよと伝え、送っていきました。結局彼らは色々なところで養子縁組の面談をしたのですが、ダメで、その後別の子どもたちを受け入れるたびに、彼らは元気ですかと訊くのですが、お兄ちゃんは高校に入って中退。高校での中退は外に出なければならぬというこ



とで、一人暮らしをさせ始めました。次に妹が一つ下なので、翌年元気ですか？と訊くと、高校に入ったのですが、結局中退をして、施設を出すことになりましたということでした。上の子も下の子も職を転々とし、あえなくなり、そこで縁が切れてしまっていたんです。でも、突然お兄ちゃんの方から電話がかかってきたのですが、それが最後で連絡がずっと途絶えていました。

みなさん LINE (スマートホンのアプリの一つ) ってやります？その兄妹が LINE に出てきたんですよ。写真がすごい化粧になっちゃってわからないんです(笑)でもこれってそうだよね~ってことで、こないだ主人の携帯から下の女の子の方に電話かけてみたんですが、やっぱり出ないんです。そしたら、LINE で「どなたですか」って入ってきて、「ゆかりだよ、わかる？」って言ったら「全くわかりません」ってきて、ダメかなと思って、「高岡ゆかりだよ」って送ったら「わかる！！」って来てつながったんです。今はちゃんと正社員として働いているみたいで、たまにうちの前を通るっていうんです(笑)じゃあ会いにおいでよって送ったら、来てくれたんです。ちゃんと手土産もって。立派に成長して今22歳で、お兄ちゃんと生活をしているそうです。中古の家なんだけど、埼玉のちょっと奥に入ったところに家を買って二人で生活しているそうです。お兄ちゃんは建築現場で働いているのですが、その日仕事でこれなかったんですが、妹一人で来てくれました。お兄ちゃんがペンキ塗

るの上手で、古い家なんだけど、私の部屋全部ペンキ塗ってくれてキレイにしてくれたんだとか、二人でよく飲みに行くんだって行って写真を見せてくれたりだとか、お兄ちゃん刺青ぼつちり入ってるらしいんですが、その刺青も根性ないので、途中で色まで入らず終わったらしいです(笑)でも、そんな感じで二人は一生懸命生活しているそうで、それがとても嬉しく思いました。

そもそも、ふれあい里親やるのに、里親さんの話を聞いた時に、たとえ片親でも刑務所に入っている、親の愛がある子って、なんか(里子に・養子に)通るんですって。全く身寄りのない子は、なかなか愛を感じられなかったりとか、精神的にも不安定だったりとか、勉強しても身に入らないし、一番やっかいなのはおねしょがいつまでも続くんだよね~なんていう話を聞いていたので、もし私がふれあい里親やるんだったら、親じゃなくても世の中にはあなたに思いを持っている、あなたを気にしてるよっていう人がいればいいなって、そういう手助けができればいいなって思って始めました。

今回 LINE で彼女とつながったことで、お金の面で面倒見ることはできないけれど、例えば何か困った時に手伝ってあげたり、いつも今どうしてるかなって気にしてあげてることが愛情なのかなって思っています。

うちの子たちは二人とも超未熟児で、一人は1,300g、下の子は1,900gだったのですが、産後の影響もあったのかもしれないですが、全てに感謝！！っていう気持ちですごくありま



した。救急車運転して下さった方にも、救急車に道を譲って下さった方にも、全てに感謝という感じで。この子が助かったのは本当に社会のおかげってというのがあったので、何かちょっとでも社会のお役に立てたらというのがあってファミリーサポートももう少し頑張ってみようかなと思っています。

で、私の最後一番心配は姉です(笑) なんとか結婚させたいと思っておりませんが、それはちょっと無理かもしれませんが、どうぞこれからもよろしくお願いいたします(笑)



会長挨拶 荒田俊治会長

今日は高岡さんの中身のあるお話をお聴きして、話もそうですが、あまりに話が上手で、僕はずっと映像が浮かんで、映画を見てるようでした。ありがとうございました。



ニコニコ報告

関場慶博会員：ユンコ姫の妹さん、ゆかり姫を歓迎します。ようこそ弘前アップルクラブへ。我が家のちょっと(だいぶ?) 昔の姫を連れてきましたのでよろしくお願いいたします。

木村由美会員：今日は山田順子会員の妹さん、高岡ゆかりさんにお逢いできる事を楽しみにしてきました。やはり、ゆんこさんと同様かわいらしいですよね~♡

吉澤葉子会員：ゆかりさん、今は心温まるお話をありがとうございました。やっぱりお声が似ていますね。お会いできて本当に良かったです。私も小さな子供と接することがあるので為になりました。

三浦順子会員：ゆかりさん卓話ありがとうございました。感動しました！ボス、先日はラインがお世話になりありがとうございました。ちょっと良くなったら薬をやめたので、ちゃんと飲みなさい!!と言ったら口ごたえ…ウン、親子になったな~。わがまま言うてくちごたえしてして、そうできるようになってホっとしました。17歳だもんね。

宇野純子会員：高岡ゆかりさんの卓話に感動しました。話が聞けてよかったです。ありがとうございました。

山本周平会員：ようこそ高岡さん！ついつい顔をまじまじと見ちゃいました(笑)。山田姉妹の魅力のルーツが聞けるのを楽しみにしています。

坂本幹事：高岡さん、ようこそいらっしゃいました。偉大なるお姉さまの取扱説明をお教えてください。

荒田会長：無事左右の手の手術が終わり、これからはスポーツをする男になります。



出席報告

第 61 回例会

出席者数 11 名

出席率 38%

修正出席率 62%

【メイクアップ】

2月8日

打ち合わせ

角田会員、齊藤会員、坂本会員、福澤
会員、三浦会員、吉田会員、渡邊会員

■例会予定

2月17日(月) E例会(管理運営委員会)

2月24日(月) D例会

3月3日(月) 内部卓話: 田村元気会員

3月10日(月) 外部卓話

3月17日(月) E例会(職業奉仕委員会)

3月24日(月) 内部卓話: 山崎徹会員

■地区内外行事

2月16日(日) 地区研修セミナー

3月23日(日) 会長エレクト研修セミナー

5月11日(日) 地区協議会

10月3~4日(金・土) 地区大会(弘前)